

新田 収・小林 賢・小山貴之(編)

理学療法スーパーバイズマニュアル 臨床実習生・新人理学療法士指導のために

潮見泰藏

(杏林大学保健学部理学療法学科)

理学療法教育における臨床実習の重要性は誰もが認めるところですが、現今では、長く先人たちによって築いてこられた臨床実習の形態を踏襲することが困難な状況を迎えていると言えます。短期間に養成施設の数が増し、年間1万人ほどの実習生を病院・施設で受け入れなくてはならない状況にある現状を考えますと、早急に臨床教育の在り方を見直す必要があります。

こうした状況では、実習の指導にあたっている人たちの多くが、実習指導者としての能力や理学療法士としての経験に乏しいため、十分な臨床教育を提供できていないことが危惧されます。ただ、指導者としての特別なトレーニングを受けることもなく、多忙な臨床の傍らで学生指導にあたっているのが現実であることから、これはある意味でやむを得ないことであると思います。しかしながら、こうした状況を打開する必要があります。そのためには、指導者となる若い人たちのための研修システムの充実や実習指導の具体的方法を解説したガイドラインや教本の整備などが必要不可欠と思われる。

その意味で、このたび、南江堂から新たに出版された本書は、誠に時宜を得たものであり、臨床実習指導に携わるすべての方々に読んでいただきたい内容であると思います。本書はその副題にもあるように、臨床実習学生だけでなく、新人理学療法士についても対象として、その指導方法について解説している点が特色の一つに挙げられます。そして、本書の編者ならびに執筆陣は、既に豊富な臨床実習指導の経験を持たれた先生方であり、各章の構成や内容についても非常に工夫がなされており、实际的で、読みやすく書かれています。

本書の第1章では、評価実習4週間、総合臨床実習8週間をモデルとして指導の流れを丁寧に解説しており、さらには新人理学療法士教育の1年間の流れにまで触れています。

第2章では、実際の指導の要点について、各執筆者が豊富な経験に基づいて具体的に解説しています。

第3章では、大学病院に始まって小児施設に至るまで各施設における独自の実習システムを紹介しています。

本書は実習指導に携わる方が個人的に読むだけでなく、各施設において本書をテキストとして輪読会形式で勉強会を持たれることをお勧めしたいと思います。

最後に、本書が多くの読者の目に触れ、日々の臨床教育に活用されることを願ってやみません。

●B5判・342頁・2色刷

定価 5,775円(本体5,500円+税)

2010年 南江堂・刊